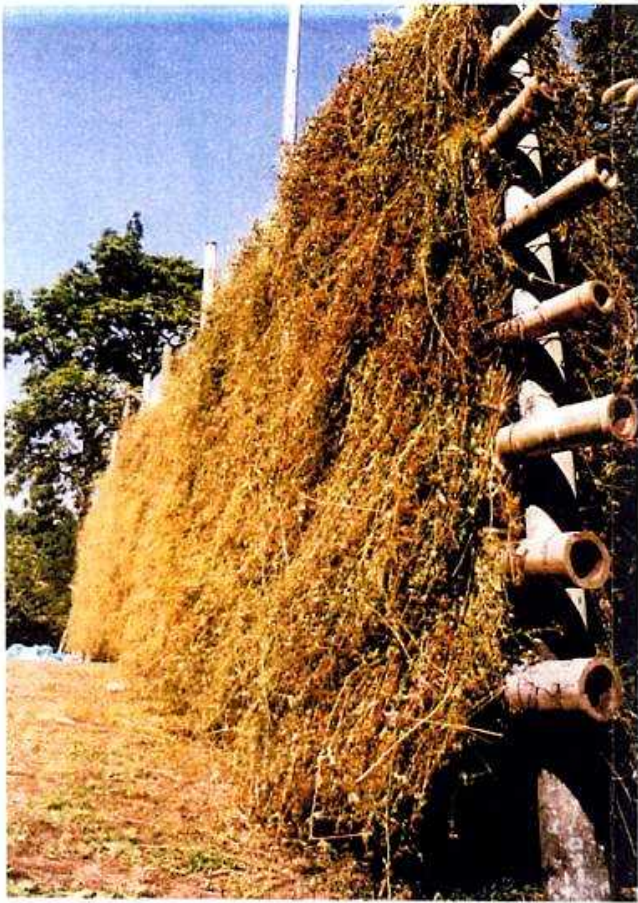


10 11 No.16
 発行 市岡町
 発着 0883-88-524



十月も中旬を過ぎれば、祖谷のソバ畑も刈りとりがはじまり、今年のもはばはよう実がつかいとうとかが「幹ばかり太く、軽うまいかんめいね」と言う念話が出るようになる。
 祖谷の「つまいもん」といえば、祖谷そば。石トラフ、ミニマクが代表的。
 どれも、祖谷の自然が作り出す。刈りとせしめられ、手を加えておいしくする人の「心」がたつぷりとエキスとして加味されているのだとおもいます。
 だから、この「つまいもん」を守っていくのは、様々な「ごぼり」が必要不可欠ともいえます。材料のソバの実、大豆、ミニマク玉を耕作するのからはじまるのですが、どれも、耕作面積が少なくなるとつづつ減ります。そばを倒にとれば、一年間を通じて使甲出来る程、耕作していませんし、ごぼりを作らざるもの

名物

つまい!!! 祖谷そば 守もれん



少なくなっています。あつう、町から祖谷にまでソバ畑にほんらかの関係をもう細々と守っている目まがいていること、大切にすることをなっています。祖谷の畑は、ほとんどが自家製として、我が家で食べるといえる人がほとんど。と言えらるおもいます。
 今年ひんかは、赤花のソバ畑が見られましたが、祖谷ソバを守ろうとしたり、それを商売として生きるなら、目先のことに走つていっては、いよいよ名物が偽者として失速されていくぞう。
 それだけ、大切な祖谷の名物を持つるのは、祖谷の人々のはずひんが

鹿垣や 守る祖谷そば 細々と

~ 武市 山 木 利 け が 流 れ る 中 . そ ば 刈 り が 続 く ~



三山鎮を守る念の目まも、祖谷のそば作りを続けているゲルマニア。毎年、そばまきから刈りとりまで、祖谷へ来られ、ごぼりていいます。
 ありがたいうことですが、少々取あつかい気がたつた。もつと、うっかりせんかいと言われたいようです。
 知恵を出しあり、祖谷そばが名物として自慢出来るようにしたいと人です。
詩和、と伝わるの四季
 DVD
 西祖谷の片山、さえずりはじめ、夕べの白丁の、支援、ご協力が出来る上、DVD「詩和」と伝わる祖谷の四季」
 ひかひか好評のようです。祖谷の自然差があはたか心に何かを伝えよう、ということ、しょう。一枚のDVDです。注は、市岡まで